



発明の名称

インターネット上の有害書き込み検出装置及び検出方法

～有害書き込みを効率よく検出し、ネットパトロール負担を軽減する技術～

発明者

梶井 文人、ミハウ プタシンスキ（北見工業大学）

技術概要

従来のインターネット上有害書き込み検出装置は、書き込みに偏りが生じていた場合に特定のタイプの有害表現のみが集中して検出されてしまう問題がありましたが、本発明者らは、関連語句の種単語と各カテゴリとの関連度を計算し、関連度の最大値を書き込まれたテキストの有害極性値とし、有害極性値が予め設定された閾値と比較し有害性を判断することにより解決しました。

発明の目的

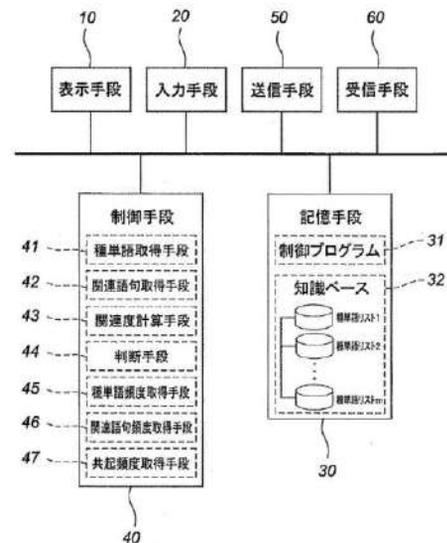
インターネット上の有害書き込みを有効にかつ効率よく検出することができる検出装置及び検出方法を提供することです。

効果

従来方法よりも高い判定性能を得ることができ、ネットパトロール担当者の負担を軽減できます。また、携帯端末やパソコンなどから有害書き込みをしようとしたときに、従来手法よりも高い判定性能で有害性を検出することで、書き手に警告し、有害書き込みを未然に防止することもできます。

出願・登録

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願日

2013/11/28

設定登録日

2018/03/09

存続期間満了日

2033/11/28